

News Letter

2025年

6月

中国四国農政局
鳥取県拠点

 鳥取すいかのおいしい季節がやってきた！！



6月10日、大栄西瓜初出荷出発式が盛大に開催されました。

鳥取県はすいかの産出額が全国4位(令和5年)を誇る、すいかの名産地です。

特にJA鳥取中央管内は作付面積が263.3haと、「鳥取すいか」生産の大半を占めています。

今年度は春先の低温で生育が心配されましたが、生産者の皆さんの努力で例年並みのおいしいすいかに仕上がりと、販売量は14,057tを見込んでいます。

管内の市町では、特色のあるブランドすいかが生産・出荷されています。ぜひ食べ比べて皆さんの「推しすいか」を探してみてください。

【北栄町】

北栄町の肥沃で保水性と透水性が良い黒ボクの丘陵地で栽培される「大栄すいか」は、市場から高い評価を得ているトップブランドです。



令和元年には、GI(地理的表示保護制度)に登録されています。

作付面積:150ha
販売量:8,223t

【倉吉市】

倉吉市は、大玉でシャリ感があり、高糖度なすいかの産地です。トップブランドの「極実西瓜」は、すいかの台木を使った栽培の難しい品種です。産地でも栽培技術の高い生産者のみが栽培できます。皮が薄くやわらかい食感が特徴です。



作付面積:103.2ha
販売量:5,300t

写真提供:JAとっとり中央

【琴浦町】

琴浦町では、主に黒皮すいかの「がぶりこ」と、しま模様の「きらり」が生産されています。「がぶりこ」



は、種が少なくガブリガブリと食べやすく、糖度も高いことから好評を得ています。

作付面積:8.7ha 販売量:456t

【湯梨浜町】

主に湯梨浜町泊地区で栽培される「とまり美人」は早期栽培に適した品種を選定し、県内では一番早く出荷されます。ブレ



のないすいかを手で選別し、甘み、食味、後味の三拍子そろった逸品として知られています。

作付面積:1.4ha 販売量:78t

ディスカバー 農山漁村の宝 AWARD ～第12回選定～

応募受付中

募集期間：2025年6月2日(月)から2025年8月12日(火)まで

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用した、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

受賞体系

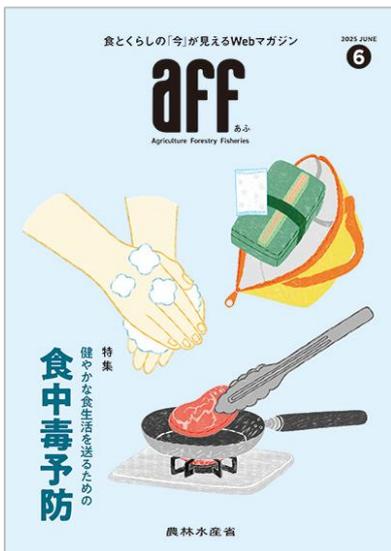
グランプリ

優秀賞 ビジネス・イノベーション部門 所得向上や雇用を生み出す取組等 団体向け	優秀賞 コミュニティ・地産地消部門 地域活動による活性化の取組等 団体向け	優秀賞 個人部門 リーダー的な活躍をしている者等 個人向け
(特別賞) 特長の際立つ取組の認知度をさらに向上させるため、選定された地区の中から、特別賞を選定		

詳しくはホームページをご覧ください。
「ディスカバー農山漁村の宝アワード」
<https://www.discovermuranotakara.com>



食中毒から身を守りましょう!



温度や湿度が高くなる時期は、食中毒の原因となる細菌の増殖が活発になるため、食中毒が発生しやすくなります。

Webマガジンaff(あふ)の2025年6月号では、「健やかな食生活を送るための食中毒予防」として、食中毒予防の基本や安全に食事を楽しむ調理法などを掲載しています。

aff(あふ)最新号はこちら
<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/>



Instagramも更新中!

